

復興なみえ町十日市祭

今年で5回目となる「復興なみえ町十日市祭」が11月14・15の2日間、二本松駅前周辺で開催されました。

14日には大堀神楽保存会による神楽、請戸の田植踊りなどの伝統芸能や、浪江小学校・津島小学校の児童たちによる歌と太鼓の演奏や、浪江中学校の生徒たちによる空手道とYOSAKOI演舞などが披露されました。

15日には懸田弘訓先生の解説による4つの民俗芸能、相馬流れ山踊り、浦安の舞（苅宿）、室原の神楽、神楽七芸（南津島）も披露されたほか、浪江町の各仮設住宅、借上げ住宅の自治会の皆さんの作品も展示され、会場は大いににぎわいました。



多くの人でにぎわう露店



室原の神楽



タブレット相談会



各自治会の皆さんによる作品



北 幾世橋内匠町の伝統行事「お念仏」地域住民集う

震災後、昨年から再開した北幾世橋内匠町の伝統行事「お念仏」が11月4日、青空の下、今年も同地区の愛宕堂で催され、各避難先から同地域の住民12人が参加しました。

お念仏は毎年、主に、地区で亡くなった方の極楽浄土を祈って、葬式の際や縁日に行われていました。大きな輪のような数珠を手に取り、鐘の音に合わせて「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えながら女性が輪になって、一人ひとり祈りを込めながら回っていきます。

この日は天気にも恵まれ、お念仏終了後は心地よい陽気の中、参加者みんなで昼食を摂りながらご近所さんとの会話を楽しんでいました。



浪江中学校文化祭「秋桜祭」

浪江中学校の文化祭「秋桜祭」が10月24日、二本松市内の同校校舎で行われました。

今年は「Message for the Future!」をテーマとし、「ふるさと創造学」の発表や弁論発表、合唱や空手、よさこい、そして全校生徒が出演した自作映画等を通し、一人ひとりの未来、そして、ふるさと浪江町の未来へ、自分たちの熱い思いを伝えていました。

浪江中学校からのコメント

企画段階から当日まで、生徒と先生方が一丸となって取組み、すばらしい「秋桜祭」を作り上げました。これまでの取組みは、間違いなく生徒たちにとって大きな自信につながったものと思います。皆さまのご支援に対しまして、改めて感謝申し上げます。



よさこい



空手

作品の展示



皆さまの身の回りにある楽しい話題、いっぴう変わった話題などの情報を募集しています。

復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731

なみえ復興祭2015 秋

相馬市大野台第8応急仮設住宅の自治会主催による「なみえ復興祭2015秋」が10月17日、同仮設住宅で開催されました。

今年も天気にも恵まれ、町長との懇談をはじめ、集会所前のステージではマジックショーやアーティストの皆さんによるライブが行われ、素敵な歌声が会場に響き渡りました。また、出店には、なみえ焼そば、クレープ、かき氷や、山形県最上町観光協会の皆さんによるいも煮汁、漬物のほか、クラフト会の皆さんによるカゴや手芸品なども多数販売され、大変好評でした。

会場には相馬市周辺にお住まいの方なども来場し、多くの人たちでにぎわいました。最後には、同仮設へ物資のご支援をいただいている熊本県の大島屋さんから、来場者の皆さんにみかんが配られ、復興祭は大盛況のうちに幕を閉じました。

